荒川の人

第271回

古典を継承し、新時代を切り拓く。 あらかわの街に尺八の音色を響かせたい。

1983 年生まれ。東京都出身。人間国宝・二代青木鈴慕、三代青木鈴慕に師事。早稲田大学人間科学部、東京藝術大学音楽学部卒、同大学院修士課程修了。 2016年利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞、2018年国際尺八コンクールinロンドン優勝。西洋と日本の古楽器を組み合わせ、新しい表現の創造をめざす 「アンサンブル室町」の一員として佐治敬三賞、「邦楽四重奏団」としてリリースした CD はレコード芸術誌にて特選盤を獲得、尺八とピアノによる RigarohieS (リガロヒエス)としては、世界配信による3曲入りの1st Single「MATSURI Vol.1」が、iTunes インストゥルメンタルトップソング部門にて日本2位にランク イン。令和元年度文化庁文化交流使。

上午年7月にサンパール荒川で独演会を開催した黒田鈴尊さんは、20歳の時にピアノから 尺八へ転向した異色の経歴の持ち主です。尺八が 奏でる旋律に衝撃を受け、突き進んできた無我夢 中の20年。尺八の今と無限の可能性を追い求める 黒田鈴尊さんにお話を伺いました。

人生をやり直す覚悟で飛び込んだ 一生をかけて歩む尺八の道

世界的な音楽家、武満徹氏による和楽器とオー ケストラを融合させた楽曲「ノヴェンバー・ステッ プス」に衝撃を受け、大学生だった黒田さんは尺 八の道を志します。「日本人として自分だけの『音』 を見出したいと、もがいていた時期に魅せられた のが尺八でした。人間国宝でもある師匠が、たま たま近くに住んでいたことにも運命を感じましたね。 おそらく、もう一生分の運を使い果たしてしまった かもしれません(笑)」

亥年生まれの性格も手伝って、一度決めたら猪 突猛進。大学卒業後に進んだ東京藝大でも、ひた すら尺八と向き合う日々を過ごします。

「原始的でありながら無限の可能性を秘めた管楽 器」と、尺八の魅力を語る黒田さん。古典を大事 にしながら、ライフワークである作曲家とのコラボ も積極的に行うなど、国内外で尺八の音色を届け



昨年11月にはドイツ、チェコで公演を行った黒田さん。

ています。

2019年には、文化庁文化交流使として6か国16 都市を巡るツアーへ。「興味深かったのはブラジル では民謡、ヨーロッパでは現代音楽といったように、 国や地域で好まれる楽曲が異なっていたこと。『よ く知らないけど、一度聴いてみよう』という感覚で 会場に訪れる人が多かったことも、大きな気づきで した」

近年、世界中で禅に対する関心が高まるとともに、 尺八にも注目が集まっています。尺八を吹くこと自 体が、「吹禅」と呼ばれる禅の修行のひとつという 考え方があり、海外では幅広い世代が尺八に親し んでいるそうです。

また、管楽器の中で最も息を必要とする楽器とい われ、いい音を奏でるには腹式呼吸が欠かせないと か。「吹くことで内臓がマッサージされるので、健 康増進にもつながります。100歳を超えても、現役 の奏者もいらっしゃいました。一見、難しそうな印象 を持たれることが多い尺八ですが、すぐに音が出 せるようになりますし、何歳からでも始められますよ」

風情が残るあらかわの街で 癒しのひとときを満喫

3年ほど前に荒川区に移り住んで以来、稽古の 合間などに散歩や銭湯巡りをすることが、黒田さん にとってのリラックスタイム。濃厚なココアが評判の 荒川西中央通りのカフェ「Colifer (カリファー) 102」は、散歩の途中に見つけた大好きなお店の ひとつです。ときには、海外からやってきた作曲家 を、お気に入りの居酒屋でもてなすことも。「区内 には、お酒好きにはたまらないお店がたくさんあり ますよね。三河島駅近くの『春駒』や『好寿司』、『お やじの台所 味彩』のおでんは絶品です!」



あらかわの街の古き良き文化や歴史が色濃く 残っている雰囲気が気に入っているという黒田さん には、いつか叶えてみたい夢があります。「お寺や 神社などで演奏してみたいです。人が集まりやすい うえに、木造の建物は音がよく響きますから。音で 『旅』ができる尺八の面白さを、もっと知ってもらい たいですねし

コロナ禍という逆境を経た、昨年の独演会は地 元で初めての開催だったこともあり、並々ならぬ思 いで臨んだとのこと。2回目となる2023年の独演 会にも期待が高まります。

感情がダイレクトに音色となって表れてしまうから こそ、自分の気持ちに正直に。そして、ひたむきに。 黒田鈴尊さんと尺八との終わりなき鍛錬と挑戦の 日々はこれからも続きます。

2023年の主な公演日程

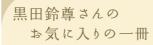
1月25日(水) 黒田鈴尊(尺八)&田中奈央一(筝·三味線·平家琵琶) 重要文化財・自由学園明日館 講堂 14:30 開演(緑の街ミュージックフレンズ)

2月13日(月) カルッツかわさき ウィズミューズシリーズ 第30回 黒田鈴尊尺八コンサート 13:30 開演 (カルッツかわさき)

2月25日(土) 邦楽明日への扉第2回 邦楽四重奏団 紀尾井小ホール 14:00 開演(日本製鉄文化財団)

3月 7日(火) The Shakuhachi 5 The 3rd concert すみだトリフォニー小ホール 19:00 開演 (The Shakuhachi 5)

※お問い合わせはカッコ内に記載されている主催まで



大野一雄 稽古の言葉 著者:大野一雄(フィルムアート社)

何かに夢中な全ての人に、ハッとさせられるヒントがあふれているように 思います。事あるごとにベージをめくる本のうちの一冊です。

